

第52回 東京都レディース連盟大会団体戦

競技上及び審判上の注意事項

令和 7年 1月 14日 (火)	武蔵野総合体育館
令和 7年 1月 21日 (火)	立川市泉市民体育館
令和 7年 1月 30日 (木)	エスフォルタアリーナ八王子

- 1 本大会は(公財)日本バドミントン協会「令和6年度 競技規則、大会運営規程及び公認審判員規程」並びに本連盟大会運営規程により行う。審判は相互審判で行う。
- 2 試合はラリーポイント制、21ポイント3ゲームマッチ、延長なしとする。
インターバルは、ゲーム間のみ120秒を超えないインターバルを認める。
- 3 オーダー用紙提出後の選手変更は認めない。ただし以下の項目については、協議の上認めることとする。
 - ① 勝敗決定後の第3ダブルスの選手変更については、主審に申し出て、相手チームの同意が必要である。
その上で、競技役員長(レフェリ)の了解を取り試合開始。ただし、先に申し出たチームの負けとする。
 - ② 対戦中、次戦のオーダー用紙提出後ケガ等によるメンバー変更が生じた場合、
競技役員長(レフェリー)に申し出て了解を得ること。
- 4 コーチ席は設けない。
- 5 試合前の練習は、挨拶をしてから若番号順に各チーム初回のみ2分間とする。
- 6 コールされてから5分以内に出場メンバー6人が揃わないと棄権とする。
その際、6人全員が背面をつけていること。
- 7 試合の進行により、コート変更あるいは並行して行う場合もある。
- 8 進行状況把握の為、第3ダブルス開始時に、得点板中央に折りたたんであるグリーンカードを伸ばしてください。
- 9 オーダー用紙の提出は、タイムテーブル1段目の試合は開会式前に提出とする。
それ以降の試合は、放送の後同時提出とする(前の試合の第1ダブルス終了あたり)
- 10 競技中の服装は、(公財)日本バドミントン協会の審査合格品とする。
- 11 背面表示は(公財)日本バドミントン協会大会運営規程第24条に準ずる(選手名入りも可)
- 12 競技中の事故等への応急処置は行うが、以後の責任は加入保険内での対応とし、参加者本人の責任とする。
競技中の出血に対する止血の処置は認めるが、テーピングをする行為は認められない。
なお、参加選手はスポーツ安全保険(C)に必ず加入のこと。
- 13 大会参加に際して提供された個人情報は、本大会活動に利用するものとし、
これ以外の目的には利用することはありません。
- 14 大会結果写真等は、関連ホームページ報道機関に、提供公開されることがある。
- 15 盗難に注意し、貴重品等の管理は各自の責任とする。

東京都レディースバドミントン連盟